

# 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画 ~Ver. 2~ (概要版)

## 1 計画の背景・目的・実施期間

町田薬師池公園四季彩の杜（以下、「四季彩の杜」という。）は、町田市を代表する公園である薬師池公園をはじめ、西園（ウェルカムゲート）、リス園、ぼたん園、ダリア園、七国山緑地保全地域など、観光施設や豊かな自然環境、歴史的資産を有した市の中心部に位置する広域なエリアの総称です。

市では、2014年6月に「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」を策定し、これまで多くの事業を展開してきました。こうした取り組みの成果により、四季彩の杜全体の来園者数は毎年増加しており、2021年度は125万人と過去最高の賑わいをみせています。

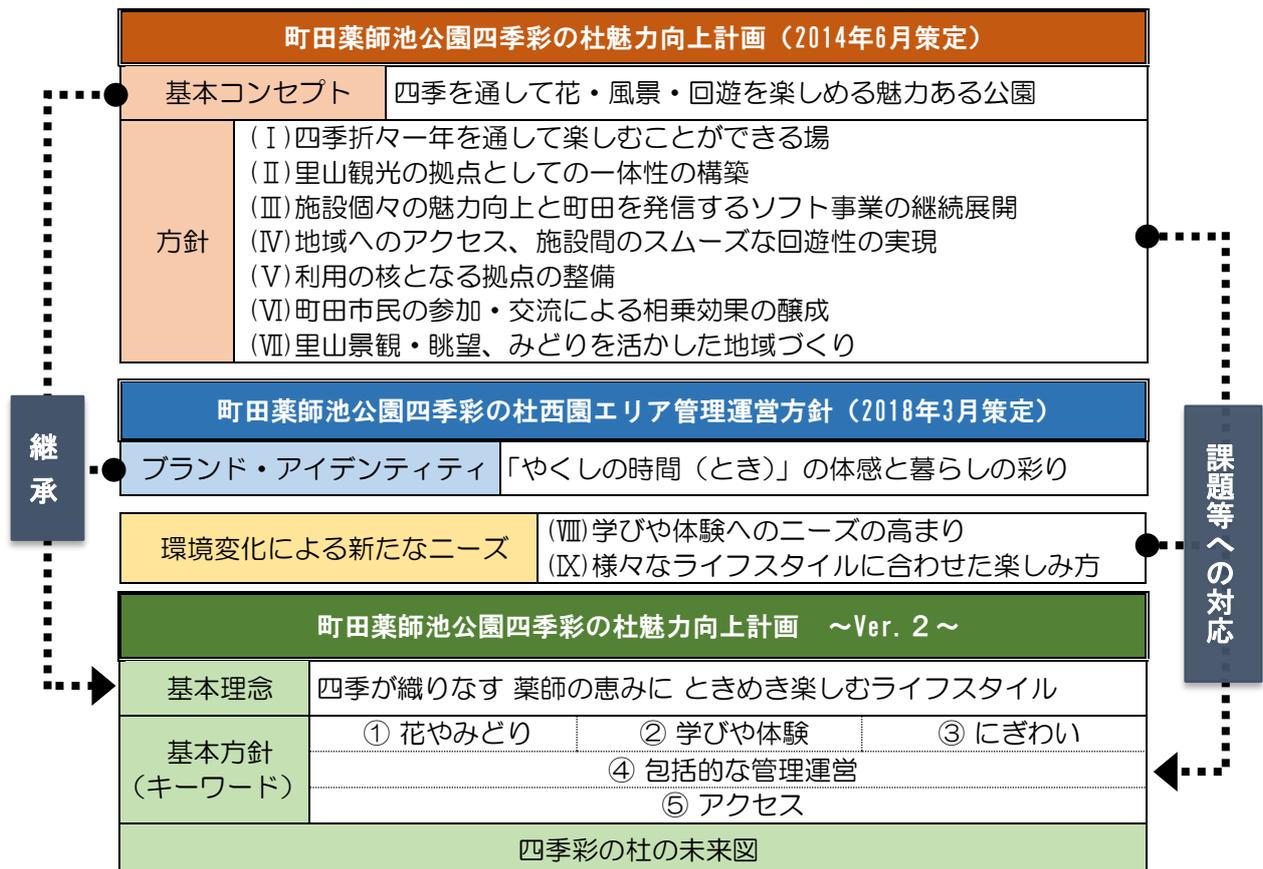
本計画は、前計画の考え方を継承しつつ、その後の環境の変化を踏まえ、四季彩の杜が「町田のシンボル」となるためにブランディングや整備、実施事業の指針となるよう前計画のバージョン・アップを図りました。

なお、本計画の実施期間は2023年度から2032年度の10年間とします。

## 2 基本理念と5つの基本方針

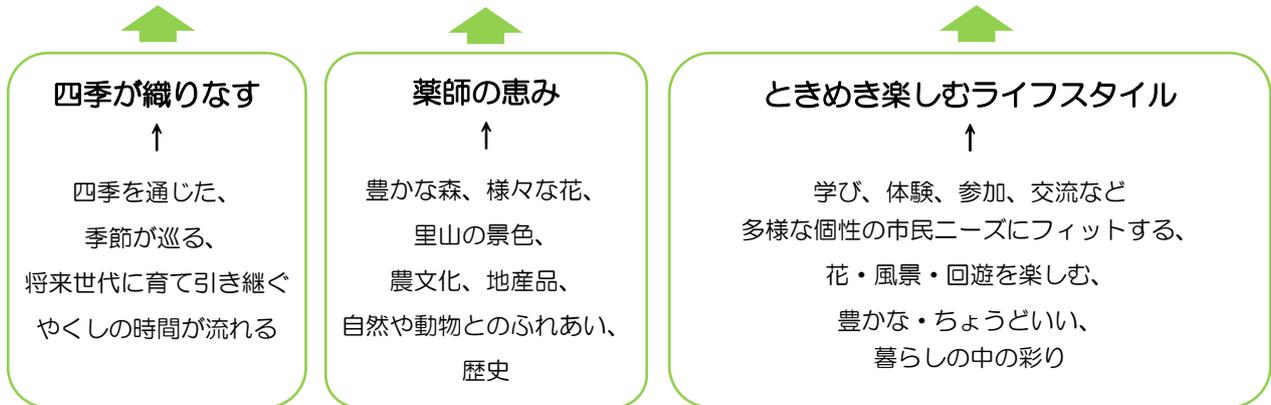
本計画では、前計画の基本コンセプトと西園エリア管理運営方針のブランド・アイデンティティを継承した基本理念を定めると共に、前計画の7つの方針に対する現状の課題と環境の変化による2つの新たなニーズに対応して、5つの基本方針（①～⑤）を設定します。

5つの基本方針の基本方針①から③については、各エリアにて展開します。基本方針④と⑤については、エリア全体に対して一体的な展開を図ります。そして「3 四季彩の杜の未来図」では、将来に引き継ぎたい考え方としてエリア全体の未来図を記しています。



## 基本理念

### 四季が織りなす 薬師の恵みに ときめき楽しむライフスタイル

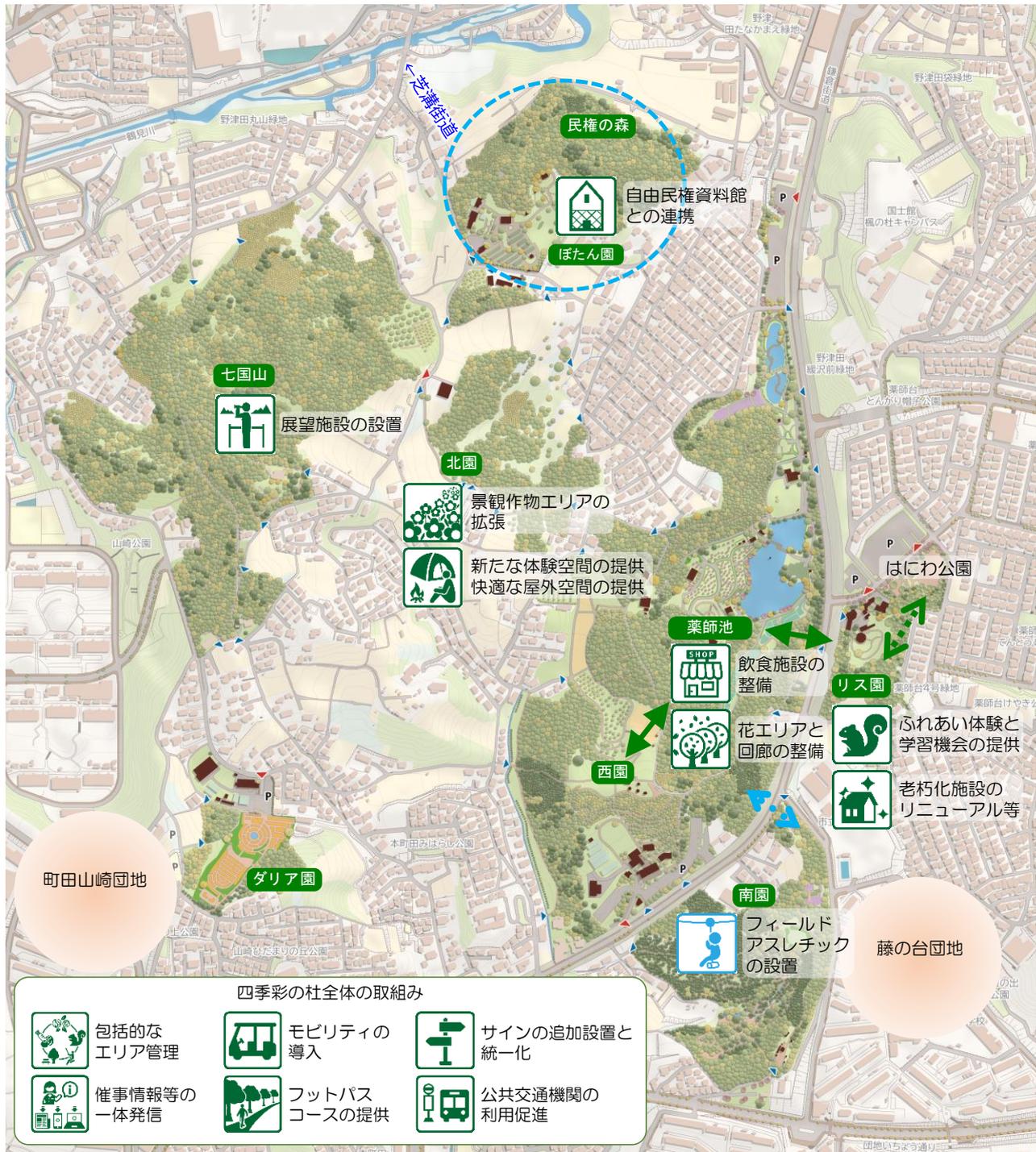


## 5つの基本方針

- 基本方針① 四季折々一年を通して花やみどりを楽しむことができ、何度でも訪れたくなる場をつくります。【前計画（Ⅰ）（Ⅶ）に対応】
- 基本方針② 子どもから大人まで、様々なライフスタイルに合わせた学びや体験の場をつくります。【前計画（Ⅰ）（Ⅲ）（Ⅵ）（Ⅶ）、新たなニーズ（Ⅷ）（Ⅸ）に対応】
- 基本方針③ 市内事業者との連携と空間のリニューアルにより、新たにぎわいの場をつくります。【前計画（Ⅰ）（Ⅲ）（Ⅵ）に対応】
- 基本方針④ 様々な主体が連携した包括的な管理運営により、持続型エリアをつくります。【前計画（Ⅱ）（Ⅴ）に対応】
- 基本方針⑤ 巡ることが楽しく、スムーズにアクセスできる地域をつくります。【前計画（Ⅳ）に対応】

### 3 四季彩の杜の未来図

四季彩の杜の未来図は、2023年度から10年間で行う新規取組（緑のアイコン）とその後につなげたい取組（水色のアイコン）を併せて表示した四季彩の杜エリアの将来の姿です。



#### 4 基本方針に対応する取組

5つの基本方針を実現するための重点的な取り組みを示します。重点的な取り組みは、新たに実施していく新規取組及びこれまで実施してきた取組を更に磨き上げる継続取組に分けて展開します。また、各基本方針を包括する全体の指標と基本方針ごとに指標を定めます。

なお、重点的な取り組みを実施するエリアとの関係性は次の表のとおりです。

( ★:新規取組、●:継続取組 )

基本方針	薬師池	西園	リス園	南園	ぼたん園	ダリア園	北園	七国山	指標 (現状値)
									目標値
①	四季折々一年を通して花やみどりを楽しむことができ、何度でも訪れたい場をつくりたい。								リピート率 (53%)
	★	●		●	●	●	★	●	70%
②	子どもから大人まで、様々なライフスタイルに合わせた学びや体験の場をつくりたい。								イベント満足度 (67%)
		●	★		★	●	★		80%
③	市内事業者との連携と空間のリニューアルにより、新たなにぎわいの場をつくりたい。								施設利用満足度 (72%)
	★	●	★			●	★	★	80%
④	様々な主体が連携した包括的な管理運営により、持続型エリアをつくりたい。								HPアクセス数 (320,440回)
				★	●				500,000回
⑤	巡ることが楽しく、スムーズにアクセスできる地域をつくりたい。								複数施設利用者率 (78%)
				★					90%

#### ○ 包括する指標

指標	現状値	目標値
「町田薬師池公園四季彩の杜」の年間来園者数 (エリア全体の集計値)	125万人 (2021年度)	200万人

## **基本方針①～四季折々一年を通して花やみどりを楽しむことができ、 何度でも訪れたくなる場をつくります。～**

四季折々に表情を変える四季彩の杜特有の景観を多くの世代に接してもらえるように、風景、風情を感じられる草花等を配し、来訪により感動を得られる施設や眺望を楽しめる場所を設けます。四季彩の杜に行けば、いつもどこかで四季が感じられ、何度訪れても楽しめるエリアにします。

### **○新規取組**

- ・花エリアと回廊の整備（薬師池）
- ・景観作物エリアの拡張（北園）

### **○継続取組**

- ・農業体験（西園）
- ・林床植物の保全（南園）
- ・景観の演出と園路空間の活用（ぼたん園・ダリア園）
- ・みどりの活用（七国山）

## **基本方針②～子どもから大人まで、様々なライフスタイルに合わせた 学びや体験の場をつくります。～**

地域住民や来訪者が集い、自然、歴史、文化など、四季彩の杜「ならでは」の体験を通して、新たな発見や自分の気づきにつながる事業を展開します。また、IoTやAI、5Gなど近年のデジタル技術を活用した事業にも対応します。そして、子どもから大人まで全年代に渡る「遊び」「喜び」「癒し」「休息」「特別感」等の幅広いスタイルに適應したエリアにします。

### **○新規取組**

- ・ふれあい体験と学習機会の提供（リス園）
- ・自由民権資料館との連携（ぼたん園）
- ・新たな体験空間の提供（北園）

### **○継続取組**

- ・学びと体験の提供（西園・ダリア園）

## **基本方針③～市内事業者との連携と空間のリニューアルにより、 新たなにぎわいの場をつくります。～**

美味しい食事やお酒、スイーツを堪能する場の提供、町田市名産品や新鮮な町田産農作物の販売、野外体験等、市内事業者に支えられ、共に発展する参加・交流型エリアにします。

また、老朽化した施設のリニューアルや改善を行い、集客力の向上を図ります。その際には、Park-PFIなど民間活力の導入にも対応していきます。

### **○新規取組**

- ・ 飲食施設の整備（薬師池）
- ・ 老朽化施設の建替えと集客力の向上（リス園）
- ・ 快適な屋外空間の提供（北園）
- ・ 展望施設の設置（七国山）

### **○継続取組**

- ・ ウェルカムゲート機能の充実（西園）
- ・ 休憩所の充実（ダリア園）

## **基本方針④～様々な主体が連携した包括的な管理運営により、 持続型エリアをつくります。～**

エリア内にある複数の施設を一体で管理することで、施設間の連携をさらに円滑にし、効率的で質の高いエリア運営につなげます。また、雑木林をはじめとする、四季彩の杜「ならでは」の森林景観を持続的に保全していくために適切な森林管理を行います。さらに、デジタル技術を活用した公園管理についても対応していきます。

そして、各関係主体の連携により、継続して事業を運営していくことで、豊かな自然や歴史が残るエリアの保全に取り組んでいきます。

### **○新規取組**

- ・ 包括的なエリア管理
- ・ 催事情報等の一体発信

### **○継続取組**

- ・ みどりの適正な保全

## 基本方針⑤～巡ることが楽しく、スムーズにアクセスできる

地域をつくります。～

駅や自動車からのアクセス性と施設間移動を改善するために、動線整備と誘導の仕組みを検討し、行きやすく・巡りやすく、利用することが楽しいエリアにします。

また、交通渋滞の緩和に向け、公共交通機関の利用を促す仕組みづくりを進めます。

### ○新規取組

- ・モビリティの導入
- ・フットパスコースの提供
- ・サインの追加設置と統一化
- ・公共交通機関の利用推進と交通誘導サインの設置

## 5 未来への継承

本計画は2023年度からの10年間を対象としていますが、基本理念及び基本方針を未来へ継承するために、2033年度以降の未来に展開する取り組みについても次のとおり示します。

- ・フィールドアスレチックの設置と隣接地とのアクセス連携（南園）
- ・歴史的遺産エリアとしての事業展開（ぼたん園）
- ・隣接団地との連携

## 6 計画の推進体制

本計画の推進は、行政が全体を取りまとめながら、施設運営連絡協議会を中心に各関係主体の協力のもと、着実に推進していきます。

関係主体	役割
四季彩の杜施設運営連絡協議会	計画の進捗管理、情報の共有、イベント開催の調整、要望・意見の共有、改善に向けた取り組み など
包括エリア指定管理者	施設運営連絡協議会の事務局（2025年度以降）、総合案内所の運営、ネットワーク構築及び連携調整 など
地域団体	公園の管理運営の補助、地域主催のイベントの実施、要望・意見の提供 など
企業	イベントの開催、協賛、情報発信 など
観光コンベンション協会	各施設の一体的コーディネート、アドバイザー、包括エリア指定管理者への協力、イベントの開催、事業提案、施設運営連絡協議会の事務局（2024年度まで） など
行政	各関係主体との連携、目標達成に向けた取組の推進、計画の進捗管理 など